

仁多堆肥センター

島根県堆肥品質共励会で 最高位 島根県知事賞を受賞



▲表彰式の様子

出雲市で二月六日に開催された平成十八年度島根県堆肥品質共励会において、本町の第三セクター・仁多堆肥センター製造の堆肥が最高位の島根県知事賞に輝きました。

仁多堆肥センターでは、平成十三年度に続き二度目の受賞となります。

この共励会は島根県と県畜産振興協会が主催し、環境にやさしい農業や畜産環境の保全を図るため、良質な堆肥の生産と堆肥を活用した土作りによる環境保全型農業を進めようと開催されています。

共励会には県内全域から二

十六点の出品があり、取り扱いは易さ、腐熟度、作物への影響、利活用等への取り組みの四点が審査されました。

仁多堆肥センター出品の堆肥は、町の特産である肉牛の排泄物七十割、菌床椎茸の廃床やオガくずを三十割混合して製造しており、全般的な講評として「形状等バランスが良く、十分発酵している」、また作物への評価として「きめ細かく、根菜・葉菜類ともに使いやすい。使用してみたい堆肥である」との高い評価を受けました。

多くの発表と展示

ふるさとと教育・環境 フェスティバル

奥出雲町では、地域の自然、歴史、文化などに直接触れ、新しいものを知り、理解し、また地域への愛着を育んでいこうと「ふるさと教育推進事業」を進めています。

また奥出雲町手をつなぐ女性の会が環境問題への取り組み

みを多く行っていることから、これらの事業を実践した成果を発表する「ふるさと教育・環境フェスティバル」が一月二十八日、カルチャープラザ仁多において開催されました。

手をつなぐ女性の会が買い物袋の消費を減らすため長年啓発してきた「マイバック運動」は、今や全国で展開されるようになってきました。

午前は町内四つの小学校が地元に残る伝統芸能やふるさとの歴史など学んだ成果を、劇や踊りで発表しました。

来場者は四百人を超え、次々に披露されるステージに見入っていました。

午後は島根デザイン専門学校講師によるものづくり体験、横田高校生によるそろばん玉でのストラップづくり等多くの



▶小学生のステージ披露

催しが行われました。

また地域の方の指導で、竹やワラ等自然の材料を使った工作も行われ、子供達は夢中になって取り組んでいました。

その他、町内の全小中学校で取り組んできた職場体験、斐伊川の自然環境、奥出雲の特産物等ふるさと学習についてのパネル展示や町内の遺跡から見つかった埋蔵文化財の展示もありました。

ふるさと「奥出雲町」のすばらしさを再認識する良い機会となりました。



▶発表に見入る多くの観衆